



2025年11月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 新 日 本 科 学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永 田 良 一
(コード番号：2395 東証プライム)
問 合 せ 先 常 務 理 事 岩 田 俊 幸
I R 広 報 統 括 部 長
電 話 (TEL：03-5565-6216)

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月8日に公表いたしました2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日；以下、2026年3月期中間期）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期 中間期業績予想と実績との差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	14,542	△97	1,180	△183	△4.39
実 績 値 (B)	14,766	49	1,627	1,061	25.48
増 減 額 (B－A)	+224	+146	+447	+1,244	
増 減 率 (%)	+1.5	-	+37.8	-	
(ご参考) 前年同期実績 (2025年3月期第2四半期)	12,508	80	1,829	1,331	31.97

2. 差異が生じた理由

2026年3月期中間期においては、CRO事業が順調に推移したこと等により、売上高が前回予想を上回りました。営業利益は、米国子会社Satsuma Pharmaceuticals, Inc.（以下、Satsuma社）が中間期営業損失予想1,743百万円に対して実績は1,386百万円の営業損失となり356百万円の利益改善要因となりました。Satsuma社以外のTR事業の赤字縮小や、発電事業の伸長でメディボリス事業が黒字化するなど前回予想比で利益改善要因がありましたが、CRO事業でカンボジア子会社から輸入しているNHP（Non-Human Primates）の会計上の取り扱いに伴う一時的な減益影響670百万円により、営業利益の前回発表予想と実績値との差異は146百万円の増益となりました。経常利益は見込んでいなかった為替差益179百万円が発生しています。親会社株主に帰属する中間純利益の差異については、カンボジア子会社のNHP出荷計画に変更があり法人税が少額になったことが要因です。

以 上